

## U21a 電子のラブの寿命と陽子のラブの寿命と宇宙の大きさ

小堀しづ

-273度における電子のラブの公転軌道は  $1.749 \times 10^{-9} \text{m}$  であり、これ以上大きく成らない。これが電子のラブの寿命である。この時、宇宙の大きさはいくらに成っているか特願 2019-181787 において、現代、地表の電子のラブの公転軌道は  $1.058 \times 10^{-10} \text{m}$  であり、現代の宇宙の半径は 150 億光年だとすると、電子のラブの公転軌道が  $1.749 \times 10^{-9} \text{m}$  に成る時、宇宙の半径を  $x$  光年とすると、次式が成立する。 $1.058 \times 10^{-10} \text{m} : 150 \text{億光年} = 1.749 \times 10^{-9} \text{m} : x \text{光年}$   
 $x \text{光年} = 150 \text{億光年} \times 1.749 \times 10^{-9} \text{m} \div (1.058 \times 10^{-10} \text{m}) = 150 \text{億光年} \times 16.522 = 2478.3 \text{億光年}$ 。と解いた。これは地表の場合である。  
 ・例えば、現代、宇宙の電子のラブの公転軌道を  $10^{-14} \text{m}$  の時代であるとする。この時代の宇宙の半径を 150 億光年とする。この場合、電子のラブの公転軌道が  $1.748 \times 10^{-9} \text{m}$  に成る時の宇宙の半径を  $x$  年とすると、次式が成立する。 $10^{-14} \text{m} : 150 \text{億光年} = 1.748 \times 10^{-9} \text{m} : x$   
 $x = 150 \text{億光年} \times 1.748 \times 10^{-9} \text{m} \div 10^{-14} \text{m} = 150 \text{億光年} \times 1.748 \times 10^5 = 262.2 \times 10^5 \text{億光年} = 2.622 \times 10^7 \text{億光年} = 2622 \text{兆光年}$ 。電子のラブの公転軌道が  $1.748 \times 10^{-9} \text{m}$  に成る時の宇宙の半径は 2622 兆光年です。宇宙全体が -273 度に成る時、宇宙の半径は 2622 兆光年です。電子のラブと陽子のラブの寿命は  $2.622 \times 10^{15}$  年です。